

# 漁業用燃油高騰対策の強化について

【 農林水産省・水産庁 】

## 提案の内容

エネルギー効率の高い漁船用推進機関など省エネルギー化や操業の効率化を促進するための技術開発をさらに強力に進めること。

漁業者の行う経営コスト削減に向けた新たな取り組みや省エネルギー対策に係る設備等の導入に対して、逼迫する漁業経営の現状に鑑み、一層の支援強化を講じること。

緊急総合対策基金事業の期間や内容について、必要に応じて見直しを行い、燃油価格の高騰により圧迫されている漁業経営の改善を図るための総合的対策を推進すること。

## 【 現状と課題 】

燃油高騰の状況と漁業に与える影響

我が国漁業は、輸入水産物の増大等による魚価の低迷、昨年に引き続く大型クラゲの来遊等、厳しい経営環境に置かれている。

このような状況の中で、本年に入ってから燃油価格の高騰が続き、漁業経営の厳しい状況はさらに深刻さを増しており、我が国において漁業が将来にわたって安定的な発展を図れるよう、燃油対策の強化が大きな課題である。

- ・ 松江のA重油小売価格は、8月基準で平成16年が43円、平成17年が54円、平成18年が66円
- ・ 本県の沖底やまき網船団では、1～1.5千キロリットル/年を使用
- ・ 重油の値上率から換算すると、平成18年は平成16年と比べ油代の支出が約1.5倍となり経営を大きく圧迫する見込み

## 【 本県の取組状況・方針 】

県では、クラゲの来遊や燃油の高騰で経営が厳しい状況に対し、平成18年度に償還期間6年の低利の運転資金を創設し、融資期間中に燃油の高価格に対応できる経営体質への改善を促進している。

## 【 提案要望の効果 】

経営改善や燃油流通改革に取り組む漁業者・漁協が、計画の検討や実施に向けた調整を行なう期間を十分に確保すること等により、漁業経営の体質改善を促進し、もって漁業者の経営安定を推進する。

省エネルギー機器の開発・導入は経営改善の喫緊の課題であり、実証化に向けた支援を強化することにより経営体質の転換を推進する。